

ファジアーノ岡山の専用練習場整備を要望する署名

署名用紙 設置・回収場所 ※順次増やす予定です。

- ファジアーノ岡山スポーツクラブ事務所(岡山市北区厚生町3-1-15岡山商工会議所ビル5F)
- ファジアーノ・フットサルパーク(岡山市北区駅前町1丁目8-5ドレミの街7F)
- ファジスクエア(岡山市北区清心町3-31)

ファジアーノ岡山の練習場に関する Q&A

Q1.チームの練習場は今どうしているの？

現在、岡山市内の2ヶ所の天然芝グラウンド(財田スポーツ広場、神崎山公園陸上競技場)を交互に使用してトレーニングしています。ただし、4月~7月上旬は天然芝の使用が禁止されているため、人工芝グラウンド(灘崎総合公園多目的広場)でトレーニングしています。

Q2.なぜ練習場が必要なの？

プロ選手は、勝つためには、また、プロとして生き残るためには、運でも才能でもなくトレーニングの積み重ねしか頼りにならないことを知っています。練習場はプロ選手にとって仕事場であり、チームを選ぶうえで極めて重要な要素となっています。したがって、プロクラブにとって練習場は、良い選手を集めるために最も大事な基盤であるとともに、集めた選手を育成し強いチームを作るために不可欠な設備といえます。

Q3.今使っている練習場ではだめなの？

プロの練習量では人工芝の硬さが怪我の原因となるため出来るだけ天然芝でトレーニングすべきなのですが、現在使っている天然芝のグラウンドは2面とも怪我が心配されるような凸凹があり、トレーニングに大きな問題となっています。また、それぞれのグラウンドには付帯施設が十分ではないため、映像を用いたミーティングや練習後の身体のケアが十分に出来ずにいます。最も大きな問題は、どのグラウンドとも優先的な使用が確保されているわけではないため、どのグラウンドとも使用できない可能性があることです。どこもグラウンドが使用できず、トレーニングが出来ないというのはプロにとっては、決してあってはならない状況なのです。

Q4.他のJリーグクラブはどうなっているの？

Jリーグ37クラブ中33クラブが自由に練習できる環境にあり、そのうち30クラブが専用で使える練習環境を確保しております。練習場が自由に使えないクラブは現在4クラブあり、複数の練習場の都合を組み合わせる練習スケジュールを立てています。この4クラブのうち、岡山だけがどこも練習場を使用できない日があります。シーズン中にトレーニングが出来ないとすればプロチームにとっては致命的な状況であり、このような厳しいグラウンド事情を抱えているのはJリーグ全37クラブのうち岡山だけとなっています。

Q5.どういった練習場が必要なの？

Jリーグの多くのクラブは、天然芝2面、人工芝1面、クラブハウスといった練習場を整備しております。ほとんどのプロチームはこうした専用の練習場で、リーグのスケジュールやチームの状況に応じて、自由にスケジュールを組み立て効果的に練習を行っております。通常は天然芝のグラウンドで練習を行い、芝の養生が必要な場合や雨で天然芝へのダメージが見込まれる場合は人工芝を使用します。また、こうした練習グラウンドにクラブハウスを併設することで、選手の身体のケアや映像による戦術ミーティングなどを実施し、練習をより効果的なものにしていきます。

Q6.なぜ、天然芝なの？人工芝や土のグラウンドじゃだめなの？

土のグラウンドには芝のようなクッション効果がありません。プロのトレーニング量は皆さんの想像を超えたもので、選手は身体の限界まで自分を追い込むため、土のグラウンドの硬さは確実に怪我の原因となります。また、人工芝は天然芝に比べて滑りが悪くスパイクが掛かり過ぎるため、膝や足首にかかる負担が大きく、これも怪我を引き起こします。例えば、プロ選手のスパイクは1~2ヶ月で壊れるのが通常ですが、人工芝でトレーニングを行っている約半分の期間で壊れます。選手の怪我を予防するため、プロチームの練習には天然芝のグラウンドが不可欠となります。現在、Jリーグ全37クラブのうち、毎日人工芝で練習しているクラブはほとんどありません。